

「志」の原点「命知」と「250年計画」

創業者が悟った企業の真の使命(=命知)

1932年とある宗教本部を訪問

無償の奉仕活動
喜びに満ちて働く
人々の姿



人には(物)と(心)の豊かさが必要
 宗教 = (心) の豊かさ
 事業 = (物) の豊かさ
 とともに聖なる仕事!
 そこに企業の真使命がある!

1932年5月5日 第1回創業記念式を挙げる

幹部社員全員(168人)を集め
 「松下電器の真の使命は、生産に次ぐ生産にあり、
 物資を無尽蔵に、樂土を建設することである」と発表



建設時代 10年	活動時代 10年	社会の 貢献 5年
-------------	-------------	-----------------

25年(1節)

25年を1節として10回
 250年か172
 理想の社会(樂土)を
 実現する

「250年計画」

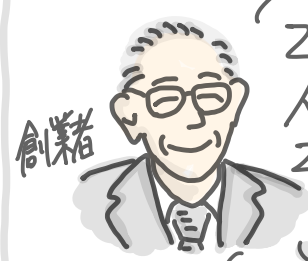
今を犠牲にするという意味ではない。
 自分たちの幸せの上に次代の幸せを。

創業者の話の後、会場は興奮のさかばに。全員が次々に所感を発表



何か話さないとこの興奮は収まらない

当時を振り返って...



250年とは...
 人生50年の時代。
 25年=1人が社会で働く期間=1節

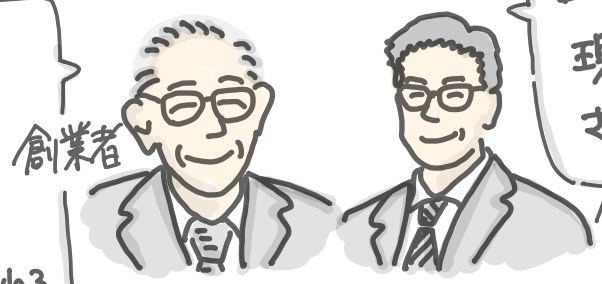
10時に始まり
 終わったのは18時!
 すごい熱気だった!

うちの社長、すごいスチールのことを言う。何ですごい人だ!
 ハンサーイと叫んでいた人!

創業者の訪で皆が1つに!
 「共にがんばろう」という気持ちか自然に湧き上がってきた。

今につながる「250年計画」

次の250年=ほさらに高い理想に向かう。
 その時の理想は
 その時の人にとって
 伝統を大切に継承される



日に新たに挑む!
 現状を常に疑い、さらに新しいやり方へ

パナソニックグループ CEO 楠見 雄規

創業者の志を受け継いで、さらに未来へつなぐ
 今のやり方にとらわれずに新しいやり方で
 物と心が共に豊かになる理想の社会に!